

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎 /

戦争と弾圧への道許さない

全都の争議団・労組107団体・400余名が結集 反弾圧集



九月十三日、東京・清水谷公園で「9・14反弾圧集会」が開催され、動労千葉青年部二八名をはじめ、全都の争議団・労組一〇七団体、四百余名の結集のもと、権力・機動隊の不当弾圧を粉碎し、集会デモを貫徹しぬいた。**青年部K生寄稿**

三里塚・狭山を軸に拡大する戦線
集会は、権力の不当検問＝集会破壊に対し「検問粉碎隊」を組織し、実力で検問を突破しかちとられた。

部落解放同盟・指紋捺捺拒否を闘う在日朝鮮人の仲間、反権力を闘う仲間のあいさつのあと、三里塚反対同盟からの「成田用水攻撃、東峰裁判重罪求刑を突破口とする中曽根の二期強行に対し、9・16、10・20の大爆発で闘いぬく」とのアピールを圧倒的拍手で確認した。

基調報告では、①反弾圧の陣形づくり ②労戦統一攻撃と対決し闘う労働運動をつくる、③指導部の闘争放棄の中、狭山―三里塚と結合し闘いぬく、④弾圧のための立法を許さないとの四つの任務を全て確認した。

新藤青年部長

11月末スト決起を宣言

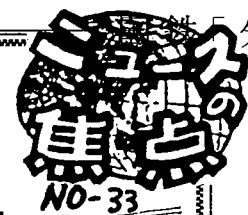
決意表明では、動労千葉から新藤青年部長がたち、「この秋に決戦ストライキ

に撃つて出る」と高らかに宣言し、特別アピールを読みあげ全参加者に中曽根打倒の実力決起を訴えた。

闘う労組への処分・弾圧攻撃がふきあれる中で、反弾圧戦線の拡大は決定的に重要である。青年部は、全争議団と共に10・20七割動員をかちとり、さらに11月決戦ストで中曽根打倒へ突き進む。



侵略と戦争につき進む
日帝・中曽根を倒せ!



靖国公式参拝「1% 枠突破」米ソにつぐ世界3位の軍事力「新防衛5年計画」戦争への道

日本がうろたえる
中国再侵略の対日抗議写真

【北京二十一日共同】共同通信北京支局は二十一日、北京空軍構内で十八日行われた柳条溝事件（九三年九月）記念の対日抗議行動の様相を撮影した写真を入した。学生らは集会で、中曽根首相の靖国神社公式参拝、「軍国主義復活反対を叫んだが、同大西門付近の掲示板に張り

れた大ポスターは、ワニの姿をした日本が、破れた目の丸の旗を持ち出し、ヨダレをたらして「中国再侵略」を狙っている図を描き「終生忘れず」の題を付けている。日本の中国に対する新たな「経済侵略」に反対する声は、学生の間で意外なほど強い。

キャンパス内では、「日本軍国主義打倒」「中曽根打倒」のスローガンに交じり、「日本帝国主義を打倒せよ」のスローガンも叫ばれた。そのほか学生食堂入り口近くの横に「十一億人の後輩はいかにすべしか」という問題提起の垂れ幕も見える。写真によると、学生たちはまた、構内の「五・四運動場」

